

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

○ 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	13	0	・もっと色々な感覚教材や補助教材があってもいいと思う。 ・持ち運び可能な教材は増やしていく必要性は感じる。また訪問先によっては教材等の貸し出しにも対応してもらっている。 ・支援のスペースや教材の持ち運び等で、支援内容が限定されることもあるが、教材を考え
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	3	・利用の目的や、それに対する支援内容、頻度を共有したい。 ・スケジュール管理の難しさは感じている。訪問先との日程調整の仕方の工夫など、アプリを活用できればと思う。 ・利用者の支援の頻度については、適切かどうかを見直す必要があると思われる。 ・新規契約ケースについては担当になる職員にも伝え、把握した。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	2	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	・モニタリング、懇談にて定期的に評価し、保護者と一緒に振り返りしたり意向確認している。
	5 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	4	・話し合いや支援計画、記録等で確認し合っているが、時間や内容がその日の園や学校での活動・授業内容、児の様子に大きく反映されてしまい、臨機応変さが常に求められ職員の負担は大きい。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3	・訪問支援事業のみでの外部評価は行われていない。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	・保育所等訪問支援で関係者と共有している課題等の報告があれどよい。
適切な支援	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	13	0	・不定期に訪問しているお子さんにおいては、支援量・時間の少なさもあり、目標・支援内容が継続されることが多く課題である。
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われて	13	0	・原案はよりその子の支援に関わっている職員が作成し、またお子さんによっては理学・作業・言語の専門職も支援に関わりながら共通理解を図っている。
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	13	0	・支援計画の内容について、直接話をしているわけではないが、支援の方向性等は確認している。 ・訪問支援時に最近の様子や担任に意向も確認し、必要に応じて支援内容に組み入れている。
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	・システム化により、支援計画を共有し、記録も含めて訪問前後に確認できるようになっている。また訪問前に職員間で共通理解を図っている。
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認してい	13	0	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	・その子の発達や集団での様子に合わせて支援内容を設定している。
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	3	・システム化により、支援計画を共有し、記録も含めて訪問前後に確認できるようになっている。また訪問前に職員間で共通理解を図っている。

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児の状況に合わせて、事前の情報共有を職員だけでなく、担任とも行っている。 ・個別での支援が多いが、複数人で行く場合は情報を共有し役割分担している。 ・支援内容や役割分担について確認を行っているが、他の指導や業務の都合で、打ち合わせがその日に行えなかったり、複数分をまとめて話し合うこともある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	5	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援後は、会議の設定までは行っていないが、情報共有する時間は設けている。 ・支援の振り返りを行ってはいるが、他の業務や指導予定等によってはその日のうちに打ち合わせを行うことが難しく、後日まとめて行う時もある。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、訪問先の支援方法に配慮し、支援を行っている。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問後の記録は必須であり、児発管、センター長も必ず確認している。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングをしているが、十分な頻度・時間は確保できていないのが現状。特に訪問先との情報共有・ケース連絡会議は年に数回の頻度しかできていない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との会議では児発管、担当、必要に応じて専門職等、できるだけ複数名・多職種で会議に参加している。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの状況に合わせて必要に応じて関係機関との情報共有会議等を開催している。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・移行時にはケース連絡会議、書面での情報提供を行っている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所の支援方法も知りたい。 ・医療受診同行に積極的に参加し、医師だけでなく、理学や作業、言語療法の場面を見学させていただき、助言頂いている。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援のみでの参加となっている。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	
保護者	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	6	<ul style="list-style-type: none"> ・関わり方や手立て等の助言は行っているが、研修内容として"ペアトレ"という形のものはない。 ・定期的な面談を通して、ペアレントトレーニングなどを実施し、支援している。研修について周知し、参加される方も多くいらした。 ・保育所等訪問としての研修 (-)
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時だけでなく、はじまりの会(説明会)、定期的な懇談時に説明している。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の文書、また定期的な会議の場での説明は行っているが、訪問先の全職員への周知は十分ではなく課題となっている。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問頻度が少ないお子さんにおいては、意向も変わらないことも多く、支援内容・目標が継続になることもあり課題となっている。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しなから支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援の意味理解 (-) の保護者もいる。
31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問後の振り返りも含め、頻度良く懇談はできている。 ・定期的実施 	

口 等 へ の 説 明 等	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	7	・現状は年度当初のはじまりの会（説明会）、夏祭りのみとなっている。 ・保護者会としての設定はほぼないが、行事や集団活動の際には関わりを持てるように心がけている。保護者会主催の行事に積極的に協力している。 ・家族やきょうだいも参加できる行事等は開催しているが、きょうだい同士の交流を促すような支援はあまり行っていないと思う。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	2	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・わかりやすいことばで説明したり、支援計画の書き方への工夫もしている。
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	13	0	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	13	0	・できる限り対応しているが、文書でのやりとりが増えており、もう少しカンファレンスの頻度を増やしたい。 ・毎回ではないが、実施している。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	12	1	・毎回ではないが、実施している。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	13	0	・定期で訪問できている訪問先の先生方とは、気軽に話しかけたり、相談してもらえる等、信頼関係は築けてきていると感じる。 ・放課後等デイサービスからも支援の情報をとの声がある。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	4	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	2	・日々の積み重ね意識をしていくことが大事
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	3	・現状として拘束が必要な利用者はいない。必要になった際には、十分にインフォームドコンセントした上で、支援計画にも記載したい。 ・防犯マニュアル作成、訓練は必要。

○ご意見を踏まえた今後の対応（「いいえ」の多かった項目を中心に）

・2について～当センターは、保育所等訪問支援だけの職員配置ではなく、相手方もあることなので、スケジュール調整などの難しさはある。また、個々の児童について、保護者からの要望理由や頻度、利用の目的や、それに対する支援内容等を共有しておく仕組みを整えたい。
・5について～担当職員の意見を組織的に汲み上げていく仕組みは整っていないが、定期的な会議の場での活用等を図っていくなど、改善の方策を工夫していきたい。
・14・15・16について～システム化によって支援内容や役割分担について確認を行うことはできるが、他の指導や業務の都合で、打ち合わせがその日に行えなかったり、事後の確認も不十分なこともある。情報共有はこまめに行いたい。
・26について～保育所等訪問としての研修は組織的には実施できていない。個々の指導員の取り組みや保護者との関係性の中で行われている現状である。今後はセンターとしての取り組みを充実させていく必要を感じている。
・32について～現在は年度当初のはじまりの会（説明会）やおやじの会主催の夏祭り等のみとなっている。行事や集団活動の際には関わりを持てるように心がけている。きょうだい同士の交流を促すような支援は現状の仕組み上は困難なのが実態である。